

## 受賞を契機に新たに取り組んでいること

私達のまちづくりの最終目標は安全・安心なまちである。災害に強く、弱者にやさしいまちを目指して、日々の町内活動の中で地域力を高めて行くことを願っている。この目的のため町民の共同作業や自主的な多様な活動を多面的に支援できるよう、従来の町内会活動に加え以下の事業を推進した。

### 1. 交流事業の推進

2009年（平成21年）12月に第5回住まいのまちなみ賞に選出いただいた。早速福岡建築協定連絡協議会に連絡した所、ふくおか市政だよりに受賞記事を掲載してもらう事が出来た（平成22年3月15日号）。また同じ福岡県から新宮浜団地自治会も受賞された事を聞き、早速住宅生産振興財団の事務局を通じて交流の申し込みを行い相互の交流が始まった。また第1回コンクールに受賞した北九州の青葉台ぼんえるふ自治会とも連絡を取って、交流を開始した。

平成22年4月11日：第2回オープンガーデンに新宮浜団地自治会から22名が参加いただき、活発な交流会を開催した。

平成22年6月2日：第5回住まいのまちなみコンクール表彰式に当町から2名出席して、5分間の自己紹介の後表彰状の授与を受けた。また第2回すまいのまちなみネットワーク（まちネット）総会に参加して、過去の受賞団体との交流・懇親を深めることが出来た。

平成22年6月20日：コモンライフ新宮浜団地・新宮浜松林見学会に当町から17名が小型貸し切りバスで参加して、オープンガーデンや松林見学会、交流会で意見交換することが出来た。

平成22年8月21日：第2回住まいのまちなみ賞委員会に、青葉台ぼんえるふから田中氏と二瓶正史先生（アーバンセクション代表）が参加して下さり、意見をいただく事が出来た。

平成22年10月16日：青葉台ぼんえるふワークショップに当町から1名参加した。

平成22年11月28日：青葉台ぼんえるふ自治会が当町をバス見学。

## 2. 住まいのまちなみ賞委員会

平成22年4月の町内会総会で、今後3年間に渡って交付される住まいのまちなみ賞金の使途について協議していく場として“住まいのまちなみ賞委員会”が設置された。本委員会は百道浜4丁目戸建地区を構成する町内会会長、建築・緑地協定運営委員長及び各街区共用施設管理組合理事長から構成され、委員長は過去のそれぞれの長の中から町内会総会で選出され任期は1年間である。

第1回委員会	平成22年7月15日	
第2回委員会	平成22年8月21日	
第3回委員会	平成22年11月11日	
現地ヒアリング	平成22年12月12日	大月先生、財団事務局が来福
第4回委員会	平成23年2月1日	
第5回委員会	平成23年4月10日	

## 3. 協定更新のためのアンケート実施

当地区の建築・緑地協定が平成23年度に更新時期を迎えることから、協定更新を町民の意向に添って円滑に実施するためアンケートを実施することになった。専門家として柴田 建先生（九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築学部門助教）のお力を借りて、今後のまちづくりの方向性や町民の経年変化なども考慮しながら以下の様にアンケートを進めた。

平成22年11月11日	アンケート原案を委員会で検討
平成22年12月9日	アンケート最終案決定
平成22年12月10日	アンケート配布開始
平成22年12月23日	アンケート一次回収終了
平成23年2月1日	アンケート一次集計報告

今後アンケート結果を詳細に検討して、協定更新に活かしていきたいと考えている。

#### 4. 近隣への働きかけ

当町の南側隣が百道浜最後の分譲地として開発が進められた。町づくりの会が再び窓口となって、約5年の長い交渉の末希望通り隣接地域を戸建地区として分譲される事が決定し、2011年（平成23年）3月分譲され開発が終了した。

#### 5. 調査検討経費の使途（22年度分）

- ・表彰式交通費（1名）
- ・新宮浜交流会バス代
- ・青葉台ぼんえるふ訪問
- ・アンケート作成委託費
- ・アンケート実施費用
- ・アンケート報告作成依頼
- ・アンケート報告書作成
- ・柴田先生交通費
- ・町内掲示板設置助成費
- ・委員長年間活動費
- ・会議費

## 近い将来取り組まなければならない課題

### ①協定の更新

平成23年度に迫っているが、協定運営委員会や町内会と協力して協定の円滑な更新に協力して行きたい。また隣接地対策として地区計画へも取り組んで行きたい。

### ②新協定の広報

更新された協定について、町内への広報や内容の周知を図っていく活動をする。

### ③花壇作りへの支援

福岡市の助成金を受けて作られた花壇が10年以上経過したので、補修や改善に努めたい。

### ④防災・防犯への調査活動

災害時の避難や災害弱者への支援活動について、校区の委員会と連携しながらその整備について調査していく事や、開放されたまちなみ作りや防犯カメラの運用マニュアルなどについても調査して行きたい。

### ⑤交流事業の推進

上記の活動を進めるためにも、先進諸団体との交流を推進、深化させていきたい。